



平成 28 年 9 月 20 日

## 次世代営業店モデルの実証実験開始について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、営業店におけるお客さまサービスの向上と業務の効率化を図るため、次世代営業店モデルの実証実験を開始しましたので、下記のとおりお知らせします。

次世代営業店モデルでは、お取引内容をタブレットのタッチパネルで選択するスタイルを導入し、「お客さまの伝票等への記入負担を軽減する」ことを目指しております。また、ITの活用によって職員の事務処理時間を削減し、「お客さまの待ち時間を減らす」ことで、捻出した時間を店頭での対応やお客さまとの相談業務に振り向け、サービスの向上を目指してまいります。

今回の実証実験は、次世代営業店に導入予定の端末（試行機）を実際にお客さまにご利用いただき、お客さまのご意見やご要望を本格開発に生かして行くことを目的としております。試行機は、日本アイ・ビー・エム株式会社（代表取締役社長執行役員 ポール 与那嶺）、株式会社日立製作所（執行役社長兼CEO 東原 敏昭）の協力を得て、開発を進めております。

当行は、今後も、フィンテック等の最新技術を活用しながら、お客さまの利便性向上に向けた商品・サービスの提供に努めてまいります。

### 記

実施店舗	<sup>まさご</sup> 真砂支店（千葉市美浜区真砂 4-1-5（ショッピングセンターPIA 1階））
実施期間	平成 28 年 9 月 20 日（火）～平成 29 年 5 月（予定）
導入機器	事前受付タブレット、スマートステーション（仮称）、ロビー入金機、対話式端末、リモート端末等 ※導入機器は現在の予定であり、随時、追加・見直しを行います。

以上

【次世代営業店モデル店舗（真砂支店）パース】



【導入機器の概要】

機器名	機能概要
事前受付タブレット	お取引内容をタブレットのタッチパネルで選択し、伝票等への記入負担を軽減します。
スマートステーション (仮称)	事前受付タブレットに入力した内容を端末に反映し、入出金、振込、公共料金のお支払い等をスピーディーに行います。
ロビー入金機	大口の現金入金を専用機で受け付け、簡単かつスピーディーに手続きすることを可能にします。
対話式端末	新規口座開設等のお取引を、お客さまと職員が対話しながら手続きを進め、伝票の記入負担を大幅に軽減します。
リモート端末 (平成 29 年 1 月 導入 予定)	テレビ電話を通じて営業店と本部を結び、相続等の複雑なお取引を専門人員に直接相談することを可能にします。